

(単位：円)

### 問題 36 社債の会計処理

次の一連の取引の仕訳を示しなさい。なお、決算日は年1回3月末とし、収支はすべて当座預金によるものとする。

- (1) ×1年7月1日に額面総額4,000,000円の社債を次の条件で発行した。  
発行価額額面@100円につき@95円、利率年6%、利払日は6月末・12月末、償還期間5年、発行費用75,000円、償却原価法（定額法）を採用している。なお、社債発行費は繰延資産として計上し、定額法により償却する。
- (2) ×1年12月31日（利払日）
- (3) ×2年3月31日（決算日）
- (4) ×2年4月1日（翌期首）
- (5) ×2年6月30日（利払日）
- (6) ×3年3月31日（決算日）
- (7) ×6年6月30日（満期日）

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				

### 問題 37

### 問題 37 抽選償還の会計処理

当社は（決算年1回3月末日）は、×1年4月1日に額面総額400,000円の社債を額面@100円につき@97円で発行した。利率は年5%、利払日は3月末日であり、社債は毎期決算日に100,000円ずつ均等分割償還する契約である。なお、収支はすべて当座預金によるものとし、償却原価法（定額法）を採用している。

- (1) ×1年4月1日の仕訳を示しなさい。
- (2) ×2年3月31日の仕訳を示しなさい。
- (3) ×3年3月31日の仕訳を示しなさい。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

**問題 38 賞与引当金**

次の一連の取引における仕訳を示しなさい。

- (1) 当期の10月1日に賞与240,000円を現金で支払った。なお、賞与引当金180,000円を設定している。
- (2) 決算(3月末)にあたり賞与引当金を設定する。当期10月1日から次期9月30日までの賞与は次期10月1日に支払われる。翌期10月1日には260,000円が支払われる予定である。

**問題 38**

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

**問題 39 役員賞与引当金**

次の一連の取引における仕訳を示しなさい。

- (1) ×5年3月31日 決算において役員賞与引当金200,000円を繰り入れる。
- (2) ×5年6月30日 株主総会決議にもとづき、役員賞与200,000円を小切手を振り出して支払った。

**問題 39**

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

**問題 40 退職給付債務**

下記の資料にもとづいてA氏の期末時点での退職給付債務額を計算しなさい。

■資料■

- 1. 20歳で入社、期末時点で50歳、60歳で定年退職することとする。
- 2. 退職時に一時金で2,000万円支払われる。
- 3. 割引率は4%とし、その現価係数は0.6756である。

**問題 40**

円

**問題 41 退職給付引当金**

下記の資料にもとづいて、退職給付引当金を計算しなさい。

■資料■

- 1. 20歳で入社、期末時点で50歳、60歳で定年退職することとする。
- 2. 退職時に一時金で40,000円支払われる。
- 3. 割引率は5%とし、その現在価値係数は0.6139である。
- 4. 年金資産の時価は15,000円である。

**問題 41**

円

B氏の退職給付に係る次の資料によって、(1)当期に発生した勤務費用と利息費用、(2)当期末の貸借対照表上の退職給付引当金をそれぞれ求めなさい。なお、(2)当期末の貸借対照表上の退職給付引当金を計算する際には(1)の計算結果にもとづいて行うこと。

■資料■

1. 55歳で前期期首に入社し、60歳で定年退職する。当期は入社2年目である。
2. 退職金は10,000,000円であり、各期間に均等配分する。
3. 割引率は4%、その現在価値係数は次のとおりである。
4. 計算上の端数は円未満切捨て。

n \ r	4 %
1年	0.9615
2	0.9246
3	0.8890
4	0.8548
5	0.8219

(1)	勤務費用	円
	利息費用	円
(2)	退職給付引当金	円

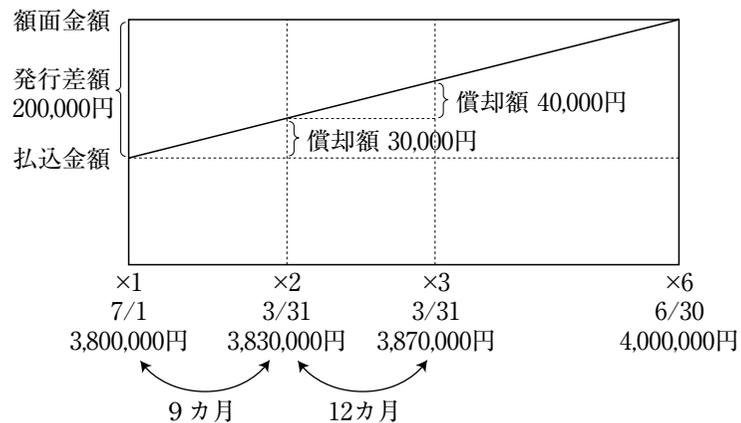
問題 36

解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	当座預金 社債発行費	3,725,000 75,000	社債	3,800,000
(2)	社債利息	120,000 <sup>01)</sup>	当座預金	120,000
(3)	社債利息 社債発行費償却 社債利息	30,000 <sup>02)</sup> 11,250 <sup>03)</sup> 60,000	社債 社債発行費 未払社債利息 <sup>04)</sup>	30,000 11,250 60,000 <sup>05)</sup>
(4)	未払社債利息 <sup>06)</sup>	60,000	社債利息	60,000
(5)	社債利息	120,000 <sup>01)</sup>	当座預金	120,000
(6)	社債利息 社債発行費償却 社債利息	40,000 <sup>07)</sup> 15,000 <sup>08)</sup> 60,000	社債 社債発行費 未払社債利息 <sup>04)</sup>	40,000 15,000 60,000
(7)	社債利息 社債 社債利息 社債発行費償却	10,000 <sup>09)</sup> 4,000,000 120,000 <sup>01)</sup> 3,750 <sup>10)</sup>	社債 当座預金 社債発行費	10,000 4,120,000 3,750

- 01)  $4,000,000 \text{円} \times 6\% \times \frac{6 \text{カ月}}{12 \text{カ月}} = 120,000 \text{円}$
- 02)  $4,000,000 \text{円} \times @100 \text{円} - @95 \text{円} @100 \text{円} = 200,000 \text{円}$
- $200,000 \text{円} \times \frac{9 \text{カ月}}{60 \text{カ月}} = 30,000 \text{円}$
- 03)  $75,000 \text{円} \times \frac{9 \text{カ月}}{60 \text{カ月}} = 11,250 \text{円}$
- 04) 未払費用としてもよいです。
- 05)  $4,000,000 \text{円} \times 6\% \times \frac{3 \text{カ月}}{12 \text{カ月}} = 60,000 \text{円}$
- 06) 再振替仕訳を行います。
- 07)  $200,000 \text{円} \times \frac{12 \text{カ月}}{60 \text{カ月}} = 40,000 \text{円}$
- 08)  $75,000 \text{円} \times \frac{12 \text{カ月}}{60 \text{カ月}} = 15,000 \text{円}$
- 09)  $200,000 \text{円} \times \frac{3 \text{カ月}}{60 \text{カ月}} = 10,000 \text{円}$
- 10)  $75,000 \text{円} \times \frac{3 \text{カ月}}{60 \text{カ月}} = 3,750 \text{円}$

解説



問題 37

解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	当座預金	388,000 <sup>01)</sup>	社債	388,000
(2)	社債利息 社債 社債利息	4,800 100,000 20,000 <sup>02)</sup>	社債 当座預金 当座預金	4,800 100,000 20,000
(3)	社債利息 社債 社債利息	3,600 100,000 15,000 <sup>03)</sup>	社債 当座預金 当座預金	3,600 100,000 15,000

- 01)  $400,000 \text{円} \times @97 \text{円} = 388,000 \text{円} @100 \text{円}$
- 02)  $400,000 \text{円} \times 5\% \times = 20,000 \text{円}$
- 03)  $300,000 \text{円} \times 5\% \times = 15,000 \text{円}$

解説

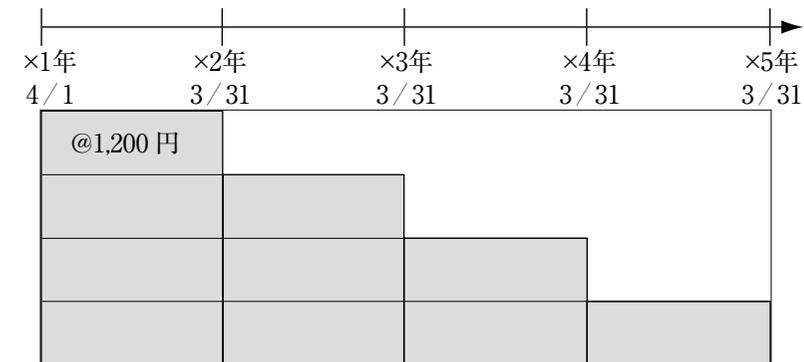
社債の抽選償還についての一連の処理です。償却原価法による償却額が、買入償還とは異なります。また、每期決算日ごとに社債が減っていくので、それに応じて社債利息の金額も減っていきます。

$$1 \text{ハコ当りの償却額} : 12,000 \text{円}^{04)} \times \frac{1 \text{ハコ}}{10 \text{ハコ}^{05)}} = @1,200 \text{円}$$

$$\times 2 \text{年} 3 \text{月} 31 \text{日} \text{の償却額} : @1,200 \text{円} \times 4 \text{ハコ} = 4,800 \text{円}$$

$$\times 3 \text{年} 3 \text{月} 31 \text{日} \text{の償却額} : @1,200 \text{円} \times 3 \text{ハコ} = 3,600 \text{円}$$

- 04)  $400,000 \text{円} \times @100 \text{円} - @97 \text{円} @100 \text{円} = 12,000 \text{円}$
- 05)  $4 \text{ハコ} + 3 \text{ハコ} + 2 \text{ハコ} + 1 \text{ハコ} = 10 \text{ハコ}$



問題 38

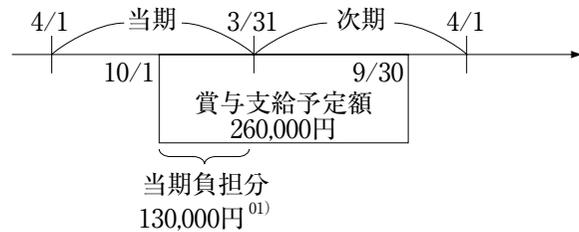
解答

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	賞与引当金	180,000	現金	240,000
	賞与	60,000		
(2)	賞与引当金繰入	130,000	賞与引当金	130,000

解説

- 賞与引当金の残高が不足した場合には、賞与勘定で処理します。  
賞与：240,000円 - 180,000円 = 60,000円
- 次期に支払いを予定している賞与のうち、当期に属する期間に対する額を、賞与引当金として設定します。



$$01) 260,000円 \times \frac{6\text{カ月}}{12\text{カ月}} = 130,000円$$

問題 39

解答

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	役員賞与引当金繰入	200,000	役員賞与引当金	200,000
(2)	役員賞与引当金	200,000	当座預金	200,000

解説

- ×5年3月31日（決算時）  
決算時に次期に支払予定の役員賞与について引当金を設定します。
- ×5年6月30日（支払時）  
支払時に役員賞与引当金を取り崩します。

問題 40

解答

10,134,000 円

解説

- 期末までに発生したと認められる金額  
 $20,000,000円 \times \frac{30\text{年(期末までの勤務期間)}}{40\text{年(全勤務期間)}} = 15,000,000円$
- 割引計算  
 $15,000,000円 \times 0.6756 = 10,134,000円$

問題 41

解答

3,417 円

解説

- 期末までに発生したと認められる金額  
 $40,000円 \times \frac{30\text{年(期末までの勤務期間)}}{40\text{年(全勤務期間)}} = 30,000円$
- 割引計算  
 $30,000円 \times 0.6139 = 18,417円$
- 退職給付引当金  
 $18,417円 - 15,000円 = 3,417円$

問題 42

解答

(1)	勤務費用	1,778,000円
	利息費用	68,384円
(2)	退職給付引当金	3,555,984円

解説

- 当期に発生した勤務費用  
 $2,000,000円^{01)} \text{ (每期負担額)} \times 0.8890 = 1,778,000円$
- 当期に発生した利息費用  
当期に発生した利息費用：期首の退職給付債務 × 割引率  
期首の退職給付債務：2,000,000円(每期負担額) × 0.8548  
 $= 1,709,600円$   
 $1,709,600円 \times 4\% = 68,384円$
- 期末までに発生した金額  
期首の退職給付債務 + 勤務費用 + 利息費用  
 $1,709,600円 + 1,778,000円 + 68,384円 = 3,555,984円$

01)  $10,000,000円 \div (60\text{歳} - 55\text{歳}) = 2,000,000円$